

日米投信概況

NISAの1月効果もあり投信に10か月ぶりの大きな流入！ 米国で超短期債やMMFに流入!! (MMF)7週連続過去最大はステーブルコイン要因？

三菱UFJアセットマネジメント株式会社 経営企画部 松尾健治 (kenji-matsuo@am.mufg.jp) 窪田真美 (mami1-kubota@am.mufg.jp)

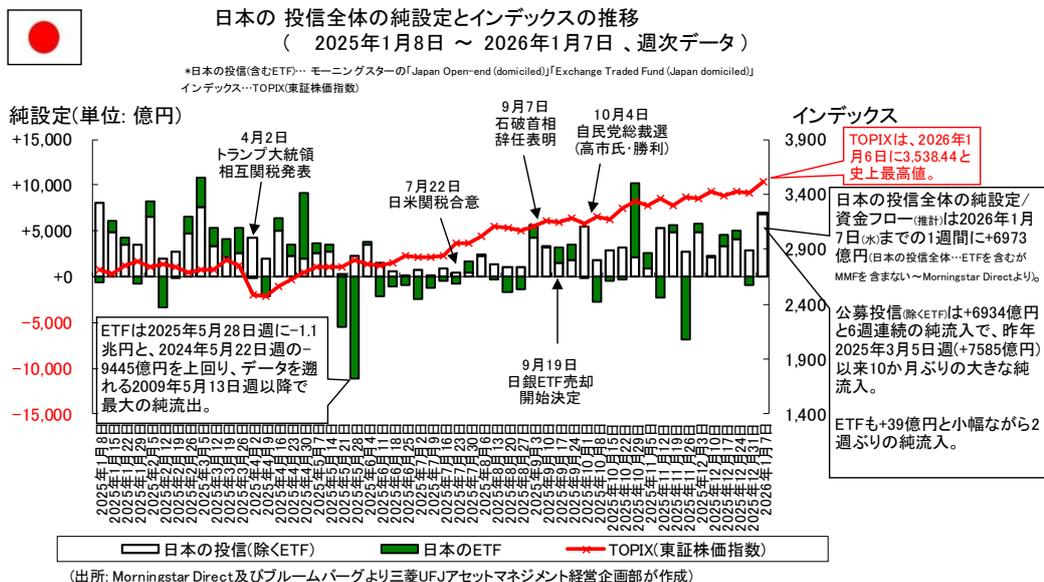
- 日本ではNISAの1月効果もあり公募投信(除くETF)に10か月ぶりの大きな純流入！p.1
- 米国で超短期債やMMFに流入!! (MMF)7週連続過去最大はステーブルコイン要因？p.3

●日本ではNISAの1月効果もあり公募投信(除くETF)に10か月ぶりの大きな純流入！

日本籍の投信全体の純設定/ファンド(マネー)フロー推計は2026年1月7日(水)までの1週間に+6,973億円と6週連続純流入(日本籍投信全体…ETFを含むがMMFを含まない～Morningstar Directより)。 **公募投信(除くETF)は+6,934億円と昨年2025年3月5日週(+7585億円)以来10か月ぶりの大きな純流入。** 日次で特に2026年1月7日は+4,200億円と、1月7日週(実質3営業日の計+6973億円)の約6割を占める純流入となった。ETFも+39億円と小幅ながら2週ぶりの純流入。

2026年1月7日週の新NISA対象投信(除くETF)が+6,616億円(←2025年12月31日週+1,709億円←2025年12月24日週+3,012億円)の大きな純流入である事から、公募投信(除くETF)+6,934億円は月初に多い積立買付に加え、新NISA3年目が始まり、新しい非課税投資枠での買付が行われた為と思われる(毎月第3営業日はクレジットカード決済による投信積み立ての資金流入が膨らみやすい…2025年1月9日付QUICK資産運用研究所「スリムS&P500」と「オルカン」、1日で合計2900億円流入 昨年を上回る」～ https://moneyworld.jp/news/05_01/5907_news)。 **NISAの買付額は毎年1(～3)月の買付が大きく、2021年以降は10～12月から翌年1(～3)月にかけて買付が増える傾向(1月効果)がある**(毎年1月にその年の投資非課税枠が利用開始になり12月末に期限間近となり未使用分駆け込みが

起こる事で、英国ISA/Individual Savings Accounts/個人貯蓄口座(株式型がNISAのモデルと同様～2024年1月29日付投信調査コラムNo.395「日本の1月効果と英国の4月効果の際にNISAとISA!?～ファンドマネジャーやストラテジストが調査・分析をする世界のファンドフローと規制・制度」～ https://www.am.mufg.jp/report/investigate/colom_340129.pdf、2015年3月2日付投信調査コラムNo.92「英国の4月効果、米国の1月効果、日本は何月効果?～英国のISAは今まさに「冬」で、来たるべき「春」、「ISAシーズン」へ向けて準備をしている所」～ https://www.am.mufg.jp/report/investigate/_inf/col/col016/2023/06/11/150392.pdf)



参考まで、1年前を見ると、**2025年1月8日週の新NISA対象投信(除くETF)が+7,664億円**(←2025年1月1日週+977億円←2024年12月25日週+2156億円)、**公募投信(除くETF)は+8,043億円と2009年5月13日週からのデータで最大の純流入**となっており、年始第一週については1年前が大きいものの、年末にかけては直近2025年末が好調だった(2025年1月14日付投信調査レポート)

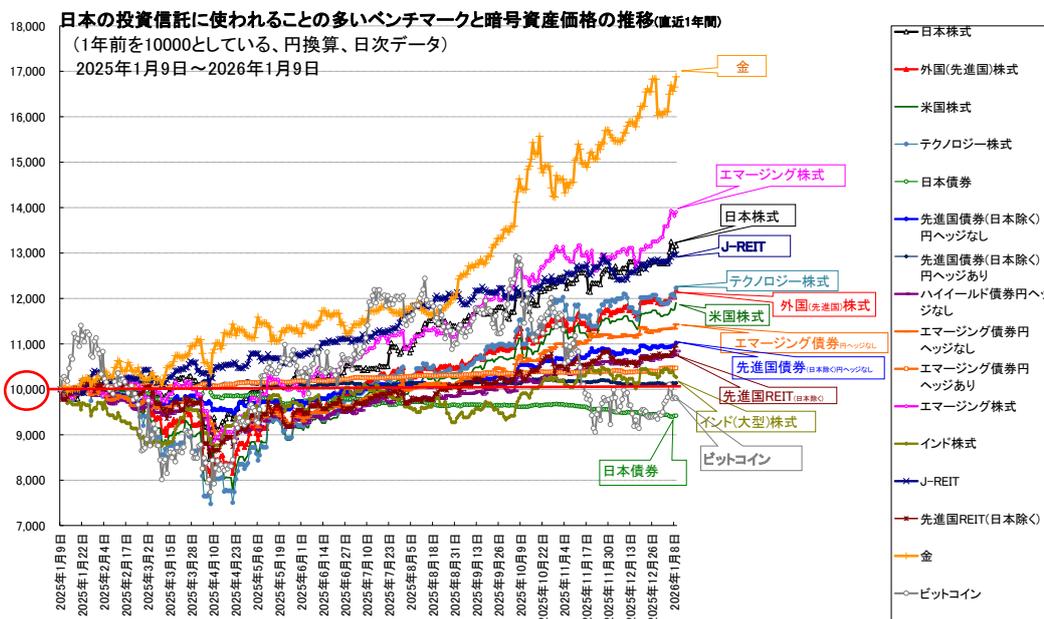
No.431「日本はNISAで過去最大の純流入！米国はビットコインやバンクローンに純流入、インド株から純流出」～ https://www.ammf.jp/report/investigate/report_250114.pdf 〇

公募投信(除くETF)の2026年1月7日週の純設定額+6,934億円について分類別に見る。純流入1～3位はグローバル株、米国株、商品。純流出1～3位は日本株大型グロス、トレーディングレバレッジド/インバース、日本株中小型バリュウ。年始のNISA経由による**グローバル株や米国株投資**のほか、**商品(ゴールド)**も純流入継続(日本籍の金関連投信はETFを含めて1月7日週に+900億円と前週+643億円を上回る)〇

● 日本の投信の分類別週間純流入(純流入の大きい順) 2026-01-07現在
*ETF・MMFを含まない。週次推計の為、月次のものとは異なる。

順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万円)	純流入 前週 (百万円)	純流入 4週計 (百万円)	純資産 (百万円)	備考 (和訳は三菱UFJアセットマネジメント経営企画部)
1	World Equity	+295,381	+71,631	+614,195	28,474,324	グローバル株
2	US Equity	+208,459	+43,599	+371,538	32,519,357	米国株
3	Commodity	+66,098	+20,449	+152,297	3,170,373	商品
4	World ex-Japan Equity	+49,240	+41,938	+222,351	16,697,423	グローバル株-日本を除く
5	World Specialty Equity	+30,451	+9,265	+67,052	5,802,352	グローバル-特定テーマ/セクター株
6	Moderately Aggressive Allocation	+25,017	+17,992	+94,547	5,694,516	モデレート・アグレッシブ・アセットアロケーション
7	Sector Equity Technology	+14,825	+6,376	+4,803	9,586,005	テクノロジー株
8	Japan Large-Cap Blend Equity	+13,974	+35,796	+103,726	6,635,537	日本株大型ブレンド
9	Moderate Allocation	+13,220	+6,295	+32,117	5,086,506	モデレート・アセットアロケーション
10	Aggressive Allocation	+10,607	+10,984	+51,557	1,184,049	アグレッシブ・アセットアロケーション
76	Country/Region Specific Equity	-826	+143	-998	357,812	単一国/地域株
77	World Hybrid Security - JPY hedged	-1,064	-548	-4,460	229,940	グローバル・ハイブリッド証券-円ヘッジ
78	Australia & New Zealand Bond	-1,077	-620	-4,780	531,944	オーストラリア&ニュージーランド債
79	Sector Equity Healthcare	-1,579	-2,585	-15,401	910,090	ヘルスケア株
80	Japan Small/Mid-Cap Growth Equity	-1,867	-485	-9,161	1,082,210	日本株中小型株グロス
81	Japan REIT	-2,069	+1,451	-38	2,436,757	日本REIT
82	US REIT	-2,356	-3,440	-16,662	2,156,130	米国REIT
83	Japan Small/Mid-Cap Value Equity	-5,486	+4,258	+20,083	1,616,348	日本株中小型バリュウ
84	Trading - Leveraged/Inverse	-26,713	-13,522	-44,384	722,871	トレーディングレバレッジド/インバース
85	Japan Large-Cap Growth Equity	-60,083	-7,459	-49,581	8,870,047	日本株大型グロス
全85分類の合計		+693,369	+292,537	+1,738,424	176,802,344	
指数名	リターン※ 最新週(%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)			
TOPIX (東証株価指数)	+3.00	+0.17	+3.74			
S&P500	+1.13	-1.23	+0.59			
MSCI ワールド	+1.37	-0.95	+1.56			

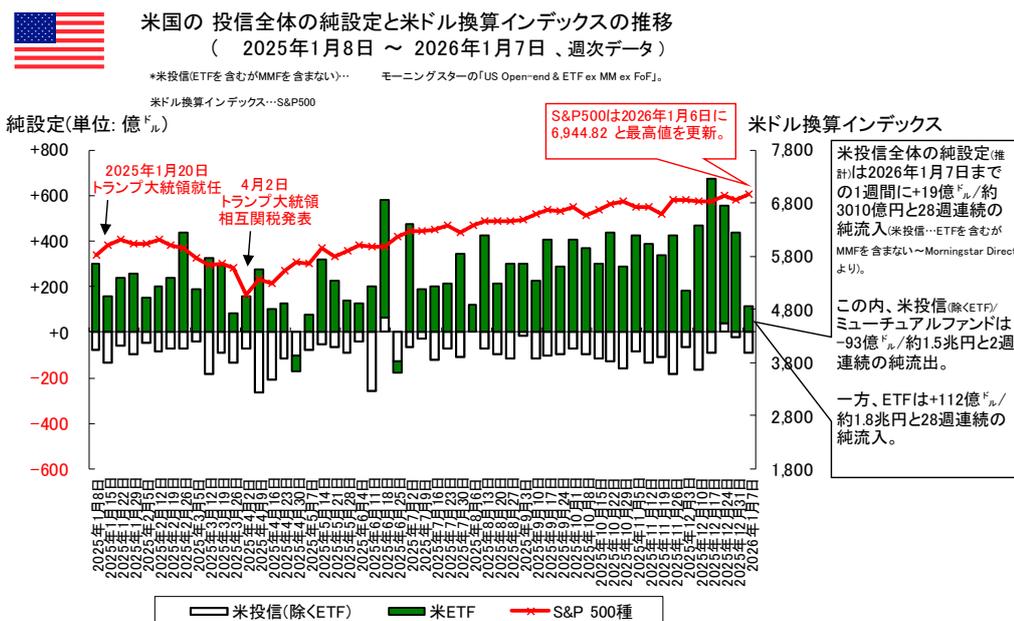
(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が作成)
※現地通貨(MSCI ワールドは米ドルベース、配当込み指数)



●米国で超短期債やMMFに流入!! (MMF)7週連続過去最大はステーブルコイン要因?

米国籍投信の週次純設定/ファンド(マネー)フロー推計は2026年1月7日までの1週間に+19億^{ドル}/約3,010億円と28週連続純流入(米投信…ETFを含むがMMFを含まない～Morningstar Directより)。投信(除くETF)/ミューチュアルファンドは-93億^{ドル}/約1.5兆円と2週連続純流出、ETFは+112億^{ドル}/約1.8兆円と28週連続純流入だが3週連続純流入鈍化(2025年12月17日までの1週間にETFは+671億^{ドル}/約10.6兆円と週次データのある2009年6月1日以降で最大の純流入からの減速。継続的なミューチュアルファンドの純流出とETFの純流入にはミューチュ

アルファンドからETFへのコンバージョン/転換も奇功…2023年11月27日付日本版ISAの道 その391「アクティブ運用型ETFが米圏を中心に世界で急増！」～ https://www.am.mf.or.jp/report/investigate/column_391127.pdf)



(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が作成)

*米Morningstarが発表する週次の純設定額(推計)は、算出時点で入手できる投信による推計であり、随時更新される(本レポートは作成時点の最新値を使用)。

2026年1月7日週の投信全体(含むETF、除くMMF)純設定額を分類別に見る。純流入1～3位は、米国超短期債、外国大型ブレンド株、商品・バスケット(日本株は+3億^{ドル}と4週連続純流入、ビットコイン等デジタル資産は+11億^{ドル}と4週ぶりの純流入)。純流出1～3位は、米国大型ブレンド株(S&P500連動など)、米国大型グロース株、トレーディングレバレッジ株式(ブル型)。

米投信の分類別週間純流出入(純流入の大きい順)

2026-01-07現在

*ETFを含むがMMFを含まない。週次推計の為、月次のものとは異なる。

順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万ドル)	純流入 前週 (百万ドル)	純流入 4週計 (百万ドル)	純資産 (百万ドル)	備考 (和訳は三菱UFJアセットマネジメント経営企画部)
1	Ultrashort Bond	+3,180	-6,293	+6,596	440,711	米国超短期債
2	Foreign Large Blend	+2,346	+2,745	+20,852	1,410,175	外国大型ブレンド株
3	Commodities Broad Basket	+2,072	+39	+36	30,885	商品・バスケット
4	Intermediate Core-Plus Bond	+1,878	+804	+4,221	667,315	米国中長期コアプラス債
5	Diversified Emerging Mkts	+1,752	-258	+6,972	640,768	グローバル・エマージング株
6	Intermediate Core Bond	+1,637	+2,154	+7,779	707,334	米国中長期コア債
7	Financial	+1,320	-268	+896	105,149	金融株
8	Industrials	+1,267	+412	+3,001	85,304	農業・インフラ・輸送等
9	Technology	+1,266	+67	+1,067	483,454	米国テクノロジー株
10	Short-Term Bond	+1,252	+652	+2,987	353,067	米国短期債
13	Digital Assets	+1,123	-112	+44	153,968	デジタル資産(ビットコイン等)
30	Japan Stock	+250	+290	+645	42,412	日本株
115	Mid-Cap Blend	-378	+677	+3,275	463,205	米国中型ブレンド株
116	Foreign Large Growth	-490	+172	-1,082	206,346	外国株大型グロース株
117	Mid-Cap Value	-653	-154	-592	289,927	米国中型バリュー株
118	Long Government	-838	-120	-2	140,734	米国長期国債(6年超)
119	Commodities Focused	-1,047	-10	+2,970	150,862	商品・フォーカス
120	Large Value	-1,767	+1,717	+3,470	1,480,625	米国大型バリュー株
121	Small Blend	-2,847	-981	+766	496,034	米国小型ブレンド株
122	Trading--Leveraged Equity	-3,736	-1,353	-3,244	135,677	トレーディングレバレッジ株式(ブル型)
123	Large Growth	-7,950	+4,184	+6,416	2,050,911	米国大型グロース株
124	Large Blend	-9,525	+28,793	+47,461	5,240,392	米国大型ブレンド株(S&P500連動など)
	全124分類の合計	+1,906	+40,932	+156,181	21,401,535	
	指数名	リターン※ 最新週(%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)		
	TOPIX (東証株価指数)	+3.00	+0.17	+3.74		
	S&P500	+1.13	-1.23	+0.59		
	MSCI ワールド	+1.37	-0.95	+1.56		

(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が作成)

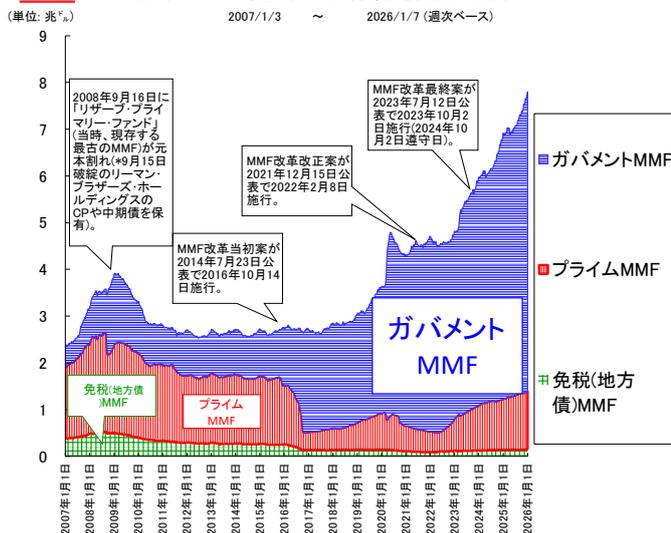
※現地通貨(MSCI ワールドは米ドルベース、配当込み指数)

純流入1位の米国超短期債/Ultrashort Bondが+32億ドルなど債券が全体で+132億ドルの純流入で、米国株が-238億ドルと2025年6月25日週以来28週ぶりの大きな純流出となっている。

以上には含まれないが、米国のマネー・マーケット・ファンド/Money Market Fund/MMFが急増している。2026年1月8日に米国投資信託協会/Investment Company Institute/ICIが発表した2026年1月7日の米国籍MMF純資産は前年同期比(52週前比)+12.8%増の7兆8,041億ドル/約1,222兆円と7週連続で過去最大を更新している(2026年1月8日付Investment Company Institute「Release: Money

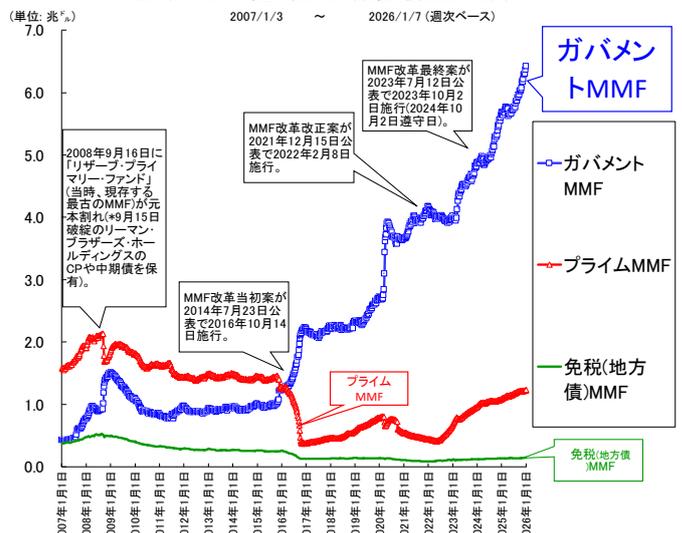
Market Fund Assets」~ <https://www.ici.org/research/stat/mmf>)。米国籍MMFの82.2%を占める米国籍ガバメントMMF/Government Money Market Funds純資産は同+12.9%増の6兆4,180億ドル/約1,000兆円と2週連続で過去最大を更新(2025年12月17日週まで4週連続過去最大)。

米国籍MMF/Money Market Fund/マネー・マーケット・ファンドの純資産推移
*2007年1月3日から毎週水曜日、ICI/米国投資信託協会が発表。



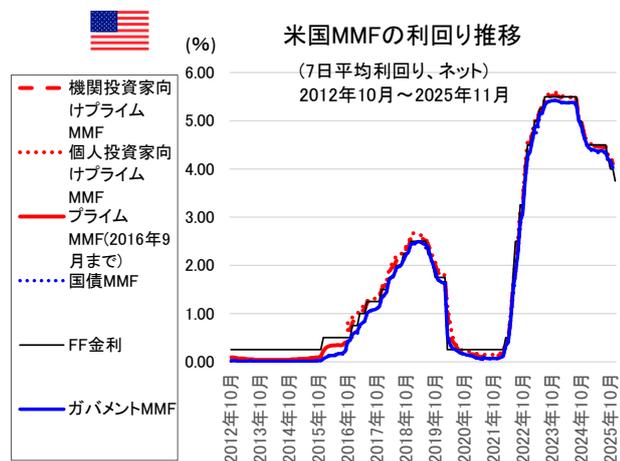
(出所: ICI/米国投資信託協会より三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が作成)

米国籍MMF/Money Market Fund/マネー・マーケット・ファンドの純資産推移
*2007年1月3日から毎週水曜日、ICI/米国投資信託協会が発表。

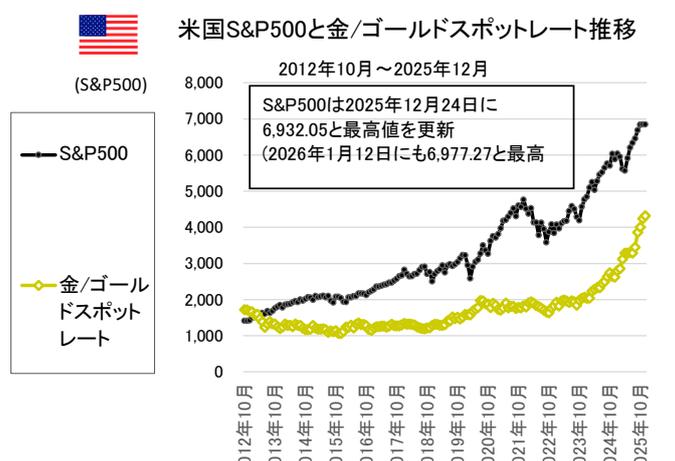


(出所: ICI/米国投資信託協会より三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が作成)

米国MMFの利回りは下げ続けており、米最大のMMFであるフィデリティ・インベストメンツ/Fidelity Investments「Fidelity Government Money Market Fund(SPAXX)」の7日間利回り/7-Day Yieldは昨年末に3.43%まで下げている(Fidelity Investments「SPAXX - Fidelity ® Government Money Market Fund」~ <https://fundresearch.fidelity.com/mutual-funds/summary/31617H102>)。米国クレーン100マネーフアンド指数/The Crane 100 Money Fund Indexの1月12日時点の7日間平均利回りは年率3.53%だ(Crane Data LLC「Crane Data Money Market Mutual Fund News and Intelligence」~ <https://cranedata.com/>)。S&P500は2025年12月24日に6,932.05と最高値を更新、2026年1月12日にも6,977.27と最高値を更新している。



(出所: SEC、ブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が作成)



(出所: ブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が作成)

米国ダウ・ジョーンズ/Dow Jones社が発行する米国で最も著名な投資週刊誌バロンズ/Barron'sは2026年1月5日に次の様に報じている(一部引用)。「マネーマーケットファンドは、今後、連邦準備制度理事会(FRB)によるさらなる利下げが予想されるにもかかわらず、2026年も着実な資産成長を維持する見通しだ。…(略)…。モルガン・スタンレーは、マネーマーケットファンドの資産残高が2026年末までに8.6兆ドルを超える可能性があると予測している。モルガン・スタンレーの2025年12月5日付リサーチノートによれば、マネーマーケットファンドの利回りが3%を上回ったのは過去20年間でわずか2回のみである。アナリストらは『高い安全性と流動性により、マネーマーケットファンドは銀行預金に代わる魅力的な投資選択肢であり続けている』と記している。昨年(2025年)、多くの投資家がリスクの高い投資に傾倒する中でも、マネーマーケットファンドへの資金流入は持続した。投資家はハイテク企業の株式を買い上げ、信用取引で株式を購入した。信用取引債務は、証券業界自主規制機関FINRAのデータによれば、最新データである11月に過去最高の1.2兆ドルに達した。モルガン・スタンレーのアナリストらは、ほとんどの投資家はその収益を株式に投資するのではなく、マネーマーケットファンドに再投資すると考えています。」(強調下線は当レポート筆者、2026年1月5日付)

Barron's「Money-Market Fund Assets Are at a Record and Poised to Keep Growing. Here's Why.」~ <https://www.barrons.com/advisor/articles/money-market-fund-assets-b6892a>)。

2026年1月5日付Barron'sにはどこにも書かれていないが、ステーブルコイン発行体/stablecoin issuers(後述)が準備資産/reserves(裏付け資産/backing)としてガバメントMMFを増やしている事があると思われる。2026年1月13日現在、世界のステーブルコイン残高は2,977億ドル/約47兆円もある(RWA.xyz「Stablecoins」~ <https://app.rwa.xyz/stablecoins>)。米ドルにペッグ(連動)するテザー/Tether Holdings社のテザー/Tether(Tether USDt)が1,775億ドル/約28兆円、やはり、米ドルにペッグ(連動)するサークルインターネットフィナンシャル/Circle Internet Financial社(ブラックロックが出資)のUSDコイン(USDC)が725億ドル/約12兆円が圧倒的に大きい。詳細は当レポート筆者が書いている2025年12月22日付投信調査コラムNo.435「MMFとステーブルコイン・リザーブ・ファンド/SRFとトークン化MMF~日本のMMFとMRF、マネー・マーケット・ファンド残高は米国1位・中国2位・韓国8位・日本9位、公社債ファンドを含む比率は日本が世界最低水準~」

(https://www.am.mufg.jp/report/investigate/column_251222.pdf)を参照の事。

参考までに、生成AI/Generative AIに「米国でMMFが過去最大を更新している主な要因を全て列挙して下さい。」と質問した所、Google Gemini「1. 銀行預金に対する高い相対的利回り」、「2. 機関投資家・個人の強い現金選好(リスク回避)」、「3. 逆イールド(利回り曲線の逆転)の影響」、「4. 利息の再投資による自己増殖」、そして最後に「5.制度的要因と企業の現金管理」とあり、そこに「2025年に可決された『One Big Beautiful Bill Act』や『GENIUS Act』などの財政・規制動向、およびAI関連投資に向けた待機資金の確保など、企業のキャッシュマネジメント手段としてMMFの活用が進んでいます。」と部分的に出てきた。

「One Big Beautiful Bill Act」つまり「一つの大きく美しい法/THE ONE,BIG,BEAUTIFUL BILL/OBBB/BBB」は、2025年7月7日付投信調査コラムNo.428「トランプ減税法成立、トランプ口座は米国版こども支援NISA? ~米国の529プランとカバーデルESA、英国のジュニアISA、日本のジュニアNISAの教育資金口座比較~」

(https://www.am-mufg.jp/report/investigate/column_250707.pdf), 「GENIUS Act」つまり「ステーブルコイン(ジニアス)法/Guiding and Establishing National Innovation for U.S. Stablecoins」は2025年7月22日付投信調査コラムNo.429「日米暗号資産(ETF)動向~日本参院選の躍進政党も自民党も暗号資産を支持し、金融庁が暗号資産参事官ポスト新設! 米国でステーブルコイン法成立、暗号資産等オルタナティブをDCに拡大する資産運用高度化改革が進む~」

(https://www.am-mufg.jp/report/investigate/column_250722.pdf), および、2025年12月22日付投信調査コラムNo.435「MMFとステーブルコイン・リザーブ・ファンド/SRFとトークン化MMF~日本のMMFとMRF、マネー・マーケット・ファンド残高は米国1位・中国2位・韓国8位・日本9位、公社債ファンドを含む比率は日本が世界最低水準~」

(https://www.am-mufg.jp/report/investigate/column_251222.pdf)を参照の事。ちなみに、Microsoft Copilotは7つ、OpenAI ChatGPTは8つ要因を出したが、該当は無かった。

以 上

三菱UFJアセットマネジメント【投信調査コラム】日本版ISAの道(及び投信調査レポートの一部)のバックナンバー:

「 <https://www.am-mufg.jp/report/investigate/> 」。

三菱UFJアセットマネジメント株式会社 経営企画部

松尾 健治(ken.ji-matsuo@am-mufg.jp)、

窪田 真美(mami1-kubota@am-mufg.jp)。

本資料に関してご留意頂きたい事項

■本資料はNISA(少額投資非課税制度)など内外の資産運用に関する情報提供のために、三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。

■本資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものではありません。市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合もあります。

■本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の筆者の見解です。

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

■投資信託は値動きのある有価証券を投資対象としているため、当該資産の価格変動や為替相場の変動等により基準価額は変動します。従って投資元本が保証されているわけではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

本資料中で使用している指数について

■TOPIX(東証株価指数)に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

■MSCI ワールド インデックス、MSCI ジャパンに対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

■NOMURA-BPI総合とは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスです。同指数は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社の知的財産であり、運用成果等に関し、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は一切関係ありません。



三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会